

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：シニア活躍推進課

担当名：就業支援担当

内線：4543

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B51	シニア就業支援事業		一般会計	労働費	労政費	雇用促進費	シニア活躍推進事業費		
事業期間	平成28年度～平成33年度	根拠法令	雇用対策法第5条		宣言項目	05	シニアの活躍推進		
					分野施策	030728	高齢者の活躍支援		
1 事業概要	シニアをはじめとする全ての求職者が身近な場所で就職支援が受けられるよう、県内8カ所（さいたま市、所沢市、草加市、川越市、加須市、春日部市、深谷市、秩父市）で就職支援セミナー、就職相談等を実施する。 また、現役時代の知識や経験を生かして小規模でも起業できることを周知し、創業・ベンチャー支援センター埼玉などの支援機関につなげる。		5 事業説明						
(1) セカンドキャリアセンター運営事業 △1,532千円 臨時職員の出勤日数の減及び事務経費の節減により生じた執行残の減			(1) 事業内容 県内8カ所において、シニアをはじめとする全ての求職者を対象に、就職相談から職業紹介までを一体的に実施する。また、定年後、やりがいのある仕事で社会とかがわりたいシニアに、知識や経験を生かして小資本、小規模でも起業できることを周知し、起業という選択肢を提案する。 (2) 事業計画 ア 利用者数 目標：12,000人（うち、シニア：8,500人） イ 就職確認者数 目標：1,500人（うち、シニア：1,000人） ウ 起業セミナー受講者数 目標：1,200人 (3) 事業効果 身近な地域で就業支援を実施することで、企業にとっては必要な人材確保につながる一方で、シニアにとっても意欲や希望に応じていつまでも働き続けることが可能となる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 市町村と連携したセミナー、就職面接会、広報の実施やハローワークの求人情報を活用した職業紹介を実施する。また、彩の国生きがい大学などと連携し、事業のPRに努めるほか、起業に向けた相談など実践的な支援は、創業・ベンチャー支援センター埼玉などと連携の上、対応する。 (5) 補正予算の概要 ア セカンドキャリアセンター運営事業 イ 臨時職員の出勤日数の減及び事務経費の節減により生じた執行残の減額						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.3人=21,850千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,532	諸収入	△2					△1,530	160,302
現計額	161,834		2					161,832	